

	全国	九州	熊本
4/26(火)	【活動支援金】 北陸支部から30万円 沖縄支部から19万円 長野地域会から10万円	【応急危険度判定】 連日、派遣を行っている。	【熊本県 業界団体合同会議】 建築士事務所協会、建築士会、建築協会、JSCA、設備設計事務所協会、JIAの6団体 熊本市内で合同会議が開かれ、現状の報告と問題点を各団体が発表し、これからの活動について話し合いを行った。
4/25(月)		【応急危険度判定】 1、熊本県郡部は5000戸終わり、今週からは熊本市内の2万から3万戸の建物を集中的に応急危険度判定を行う。 2、熊本市内の応急危険度判定は受け入れの準備が間に合わないので派遣は待って欲しい、再度調整する、との連絡があった。	
4/24(日)		【応急危険度判定】 1、熊本県 土木部長、熊本市 都市建設局長より、JIA、士会、事務所協会、構造技術者協会、建設業協会へ派遣要請あり。 2、福岡県からJIA九州支部へ派遣要請あり	
4/23(土)	●東北支部:東北の辺見支部長、松本純一郎災害対策委員長を九州支部緊急会員集會に派遣	【緊急会員集會】 会場:アクロス福岡 会議室 時間:13時より16時 参加者は約40名(webでの参加者は6名) 松本災害対策委員長より東日本震災当時の状況などの話があり、その後、東北の辺見支部長が仮設住宅について話をされました。質疑応答もなされ予定の時間を1時間過ぎ16時に閉會。	
4/22(金)	【活動支援金】 中国支部から15万円 北海道支部から10万円	【JIA九州支部災害対策委員会會議】第1回Web會議開催。各地域会の委員が活動の報告を行い、今後の活動について話し合う。(出席者17名) 【応急危険度判定】 派遣を行った。 ●福岡地域会幹事:九工大佐久間先生から東日本震災他、災害調査された資料を取り寄せ	
4/21(木)	【活動支援金】 関東甲信越支部から50万円	●福岡建築クラブ臨時代表者會議の開催。角銅支部長、田中幹事長、佐々木副総務委員長出席	●13:00より熊本地域会緊急會議を実施。 ※熊本地域会会員は応急危険度判定やクライアント対応など、各々かなり手間を取ってます。また地域会会員同士の連絡も、PC破損・外回りに追われ事務所に戻れない等の理由でうまく機能していません。
4/20(水)	【活動支援金】 兵庫地域会から11.5万円(地域会から10万円+募金分1万5千円)	●災害対策委員会を立ち上げる。	【熊本県 業界団体合同會議】 建築士事務所協会、建築士会、建築協会に加えJIAの4団体で合同會議を立ち上げ、第1回目の會議を4月26日10時より熊本県建設業會館で開催。
4/19(火)	●JIA災害対策全國會議のFacebookを開設		
4/18(月)	【活動支援金】 募金を始める 本部から30万円 東北支部から30万円	●東北支部経由で、熊本市民より直接、早急な応急危険度判定の依頼が届く。以降もあり。	
4/16(土)		●福岡にて、設計三団体意見交換會(緊急)開催。角銅支部長出席	●01時25分頃 熊本地方を震源とする、マグニチュード7.3(暫定値)の地震が発生し最大震度7が観測された
4/15(金)	●JIA災害対策本部を立ち上げる。	●九州支部災害対策委員会を立ち上げる。 ●各地域会の情報収集を行う	【応急危険度判定】 熊本県は本日(15日)午前中に「熊本県建築士会」「熊本県事務所協会」「熊本県建築協会」の3団体に派遣要請
4/14(木)			●21時26分頃 熊本地方の震源とする、マグニチュード6.5(暫定値)の地震が発生し、最大震度7が観測された